

講演

「現代の学生に対するメンタルヘルスのあり方」

—うつ傾向、発達障がい傾向にある学生の現状と支援—

組織や学校で人がいきいきと働き、学び、生きるために、人と組織はどうしたらいいのでしょうか？人間同士がどう学び、助け合い、共生していくのか？

教育現場や企業での豊富な実例をもとに解決策を考えていきます！

こころの時代と言われて久しい世の中に私たちは生きています。複雑化する社会にあって、心に何らかの問題を抱える学生は増えこそすれ減少する傾向は見られません。とりわけ心の問題からの退学は学校関係者の永遠の課題です。そこで心理的援助の観点から、早期発見、一人ひとりの学生への関わり方、対応方法まで今後の展望を踏まえながら考えていきます。

講演概要

廣川進氏の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。学校や企業での現場体験を踏まえた対応方法の<問題提起>と<解説>を通して「学生への支援の必要性」について整理し、理解を深めていきます。

<問題提起> 教育現場におけるうつ傾向、発達障がい傾向の現状
<解説> 社会背景や、対応策、学校や企業でのケーススタディ
<まとめとリフレクション>

廣川進氏のプロフィール概要

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科 教授（文学博士）
（大正大学院修士課程修了）

1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門立ち上げの業務を経験。

2001年退社後、大学教員の他に海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）、国立国会図書館、千葉県庁（復職支援）、再就職支援会社、都内クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。職場の「メンタルヘルスとコミュニケーション」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセラー養成講座」などの研修講師も勤める。

<主な著書>

- ・「成人発達臨床心理学一個と関係性からライフサイクルを観る—」（岡本佑子編）ナカニシヤ出版
- ・「統合的心理臨床への招待」（村瀬喜代子監修 共編著）ミネルヴァ書房
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版